

2024/07/17 筑波大学流域管理研究室 Phenological Eyes Network

クヌギの2度伸び@筑波実験植物園 (TBG)

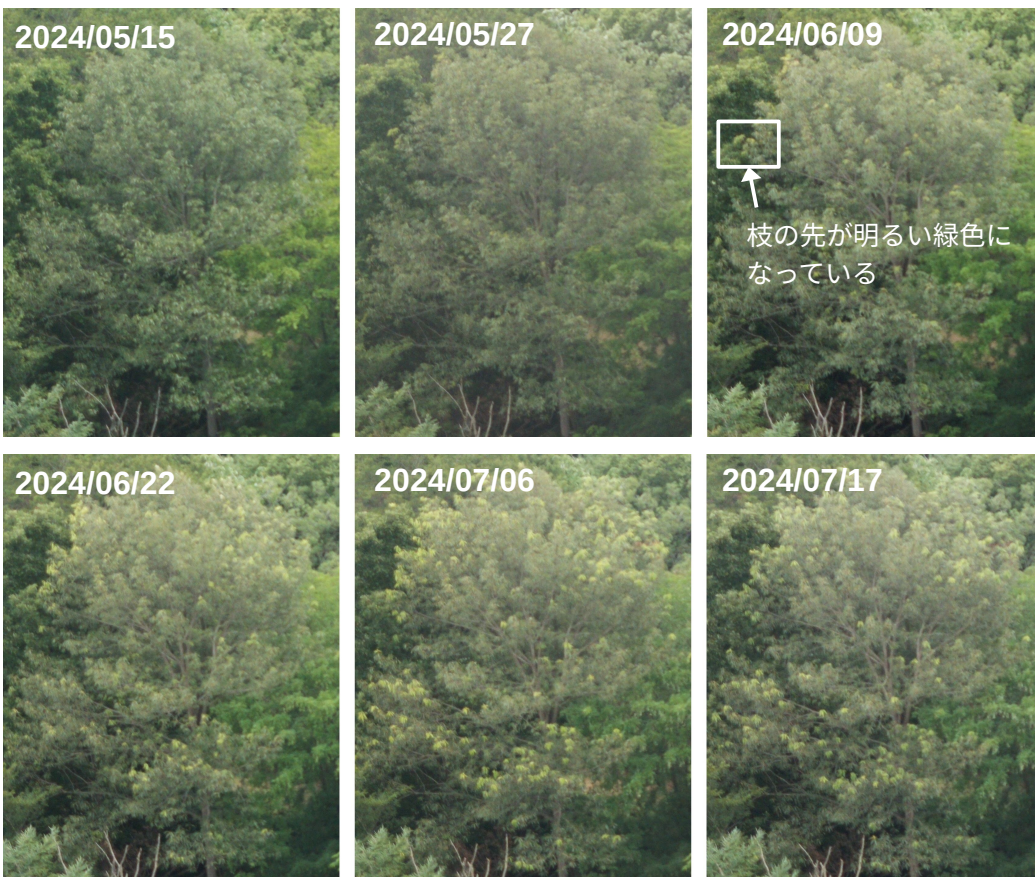
このPENだよりでは、Phenological Eyes Network (PEN) が取得したデータの中からいくつかのデータをピックアップして不定期にご紹介します。今回は、国立科学博物館 筑波実験植物園内の自然史標本棟屋上に設置した自動定点カメラが捉えたクヌギ (*Quercus acutissima*) の2度伸びの様子をお伝えします。(中村・笹川・奈佐原)

使用した画像のカメラID : ctpe1

今回使った画像の全景



クヌギはブナ科の落葉樹で、春に葉を出した後、6月上旬に再び枝が成長します。これを「2度伸び」または「土用芽 (ラマスシュート)」といいます。2024年は5月15日ごろから枝の先が明るい緑色になっており、2度伸びによる若い葉が確認できます。



現地での様子

(2024/07/17撮影)

▼クヌギの木全体の様子



▼クヌギの若い葉の様子



これらの画像はPENのwebサイト (<https://pen.envr.tsukuba.ac.jp/~TBG/summary/dc/>) からご覧になれます。